

関係各位 殿

平成 24 年 7 月 吉日

主催 日本 S.P.C 工法研究会
島根県支部

P.C.W 工法 講習会の御案内

初夏の候、皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、日本 S.P.C 工法研究会島根県支部が、下記により【PCW工法】を中心とした講習会を開催いたす事としました。【PCW工法】とはエアーミルクを使った軽量盛土工法で、すでに島根県をはじめ市町村におきまして道路拡幅や落石防止といった工種におきまして、本工法の採用を頂いております。今後は尚一層の技術研鑽を致しましてご期待に応える所存で御座います

御多忙の折柄御迷惑では御座いますが、講習会にご出席くださいます様御案内申し上げます。

なお、この発表会は、CPDS 学習プログラム認定(2ユニット)としております。

敬具

記

1. 日時 平成 24 年 9 月 7 日 (金) 13:30~17:00
2. 場所 〒690-0048 松江市西嫁島 1 丁目 3-17
島根県建設業会館 6 F 大研修室
TEL 0852-21-9004
3. 日程 ①開会挨拶 支部長 徳畑 信夫 13:30~13:40
②特別講演『巨大地震による液状化と津波被害を考える』
鳥取大学名誉教授 藤村 尚
13:40~15:00
③『S.P.C.W 工法を用いた災害対応について』
(株)藤井基礎設計 取締役技術部長
技術士 藤井 俊逸
15:10~16:00
④『S.P.C.W・PCW 工法の設計・施工方法』
日本 S.P.C 工法研究会本部
技術部長 岩津 雅也
16:00~16:50
⑤質疑応答 16:50~17:00

5、発表概要

① 「巨大地震による液状化と津波被害を考える」

2011年東北地方太平洋沖地震は、未曾有の強震度によって大きい被害をもたらしました。この地震により、東京湾岸の大変広い範囲で液状化が発生し、家屋やライフラインなどに甚大な被害を与えました。特に、浦安市では市の85%で被害を受け、利根川下流域の堤防も被災しました。液状化現象は1964年の新潟地震ではじめて認められ、それ以降、地盤の専門家らによって、40有余年、土の動的性質の解明に努力が払われてきました。専門家の間では、周知の現象であるとして扱っていましたが、今回、被害者と話をしたり、マスメディアからの情報では、未だ、一般の方には、あまり馴染みのない現象であるという印象を受けました。そこで、もっと広く皆さんに液状化現象を正しく理解していただく必要性を感じましたので、ここに報告します。また、当日は、岩手、宮城両県の津波被害についても詳述する予定です。

② SPCW工法を用いた災害対応について

a) 事例1 落石災害にSPCW工法を用いた事例

島根県にSPCW工法を導入した際、現場で3tの錘を落下させる実験を行なっています。その際の実験方法と結果について説明をします。また、SPC工法を落石対策として用いる場合の、検討手順についても説明を行います。

b) 事例2 長大斜面崩壊対策としてSPCW工法を用いた事例

急勾配の崖地で斜面崩壊が発生した現場にSPCW工法を用いた事例を紹介する。地形が急峻であったため、3D測量を用い、被災後の地形形状や落石径を定めて、検討を進めていった事例である。

③ SPCW工法、PCW工法の設計・施工方法

- a) SPCW工法、PCW工法の工法概要、設計方法、施工方法、施工事例について、報告します。

4、申込み先 別紙申込書にてお願いいたします。

締め切りは **8月24日(金)** とさせていただきます。

尚、難義の点がありましたら下記迄御連絡下さい

日本 S.P.C 工法研究会島根県支部 事務局 山根宣郎

(フリー工業株式会社島根営業所内)

TEL 0855-52-3059 FAX 0855-52-5644

以上

別紙

P.C.W 工法技術講習会 参加申込書

所 属	職 名	氏 名	備 考

※ この講習会は CPDS 認定プログラム (2 ユニット) です。

申込み代表者

会社名 _____

職名・氏名 _____

連絡先 _____

送信先

日本 S.P.C 工法研究会島根県支部事務局
(フリー工業㈱島根営業所内)

FAX 0855-52-5644